

沿革と組織

「日本の教会と神学校はなぜ合同したがるのですか?」
これは以前本学を訪問した韓国の一神学大学の学生たちが、本学に合流した多様な旧教派神学校の系統図を見て発した驚きの問いです。1つの答えは様々な教会協力合同運動（エキュメニズム）を主軸とし、教派を建設する動機も絡み織りなすドラマ——これが歴史的に見た日本伝道のシナリオと言えましょう。

三段跳び式に言えば、ホップ段階の明治初期、信仰復興の福音を伝えた日本基督公会という19世紀の合同運動が、教派形成と対抗して移植されました。宣教師ブラウンの神学塾は本学の遠く遡かなる一源流です。

ステップ段階は、20世紀エキュメニズムの日本基督教連盟をエンジンとした教派の協力合同運動の時期です。この頃2つの神学教育機関、東京神学社と明治学院神学部が合同し、日本神学校が誕生しました（1930年）。

このステップの上に、第二次世界大戦時の国家による宗教団体法の超突風も加わり、当時のプロテスタント30余派は多教派間合同教会、日本基督教団へジャンプしました（1941年）。この教団の教職養成校、日本東部および西部神学校、日本女子神学校が合同した日本基督教神学専門学校（1944年）を経て、戦後の1949年に新制東京神学大学が誕生したわけです。

以来、聖書と歴史的な信仰告白の資産を継承し、「教団信仰告白」を規準とした、健全な福音の伝道と諸教会に開かれた神学教育、教団形成の更なるジャンプに努める神学大学——これが本学の基本姿勢です。

東京神学大学のあゆみ

1859 (安政6) 年	プロテスタント諸教会の宣教師たちによる日本宣教開始
1872 (明治5) 年	横浜に最初の教会「日本基督公会」が設立
1873 (明治6) 年	宣教師 S.ブラウンが横浜に最初の神学塾「ブラウン塾」を開講
1877 (明治10) 年	「東京一致神学校」(のちの明治学院) 開校
1904 (明治37) 年	牧師・植村正久によって「東京神学社」設立
1930 (昭和5) 年	本学の前身となる「日本神学校」設立
1941 (昭和16) 年	プロテスタント諸教派の合同教団として日本基督教団設立
1943 (昭和18) 年	教派ごとに分かれていた神学校が「日本東部神学校」「日本西部神学校」「日本女子神学校」の3校に統合
1944 (昭和19) 年	上記の3校が「日本基督教神学専門学校」に合流
1945 (昭和20) 年	敗戦
1949 (昭和24) 年	日本基督教団立の伝道者養成機関として新制大学「東京神学大学」開校
1966 (昭和41) 年	現在の三鷹キャンパスへ移転
1999 (平成11) 年	東京神学大学創立50周年
2012 (平成24) 年	「日本の福音伝道」をめぐり、日本基督教団との協力関係を再確認



日本基督教神学専門学校第1期卒業生と教授たち (1944年9月)

図書館

元学長の山内眞先生は「東京神学大学は3つのCと1つのLを結びつけて営まれる神学共同体だ」と述べられました。「3C」とは、「礼拝堂(Chapel)、授業 (Class)、教会生活 (Church)」で、「1L」は「図書館(Library)」という名言でした。そして生活は常に改善され、2015年度から図書館は「1L」から「3L」へ進化して、本物にさらに近づきます。

第一に、本学図書館は、従来より東アジア有数の神学専門の図書館です。古今東西のキリスト教文献等およそ12万冊（和書5万冊、洋書7万冊）を所蔵し、学内外の学生、牧師、神学やキリスト教関係の研究者に利用されています。

次に新しい「L」、つまり図書館の2階に「共同学習室 (Learning Commons)」がオープンしました。ここで図書館の書籍・電子データが参照でき、パソコンやプロジェクターを使って、自由にグループを作り、共同学習ができます。

最後に、飲み物やトーク用の「ラウンジ (Lounge)」も図書館のすぐ近くにありますが、これら新「3L」を「3C」に加えて、皆さんの本学での生活を強力支援しています。



図書館

ラウンジ

L.C.

諸活動

●公開夜間神学講座

1947年以来、信徒、役員、教会学校教師の教育のために、本学の教員を中心とした講師陣による公開夜間神学講座が行われています。日本基督教団銀座教会にて、毎週月曜日と金曜日に開講されています。



公開夜間神学講座夏期研修会

●東京神学大学総合研究所

総合研究所は、日本伝道研究所とアジア伝道研究所から成る学術的な共同研究の拠点です。それぞれ講演会、セミナー、研修旅行などを実施しています。

●刊行物

上記の総合研究所からは、研究論文や講演を載せた『伝道と神学』が毎年刊行されます。その他、神学雑誌『神学』、東神大パンフレットなどを刊行しています。特に東神大パンフレットは、諸教会における信徒教育のテキストとしても広く用いられています。



刊行物

●後援会活動

後援会は、全国の地域ごとに地区後援会を組織し、教会・信徒の方々に東京神学大学の働きを伝え、支えとなる献金を呼びかける活動をしています。その寄付金は年間収入の半分を占め、教会の教職・信徒の皆さんが神学校の働きのために祈り支える息遣いが、ここに現れているのです。

